



健康と温泉フォーラム

第60回記念月例研究会のご案内

■ 主催：NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
NPO法人日本スパ振興協会

■ 日時：2016年2月26日(金) 13:30~16:30
(受付13:00から)

■ 会場：東京文化会館4階会議室 (JR上野駅公園口前)

■ テーマ：「温泉地の本当の価値、存在意義とは」

■ 講演者：石川理夫 (いしかわみちお) (温泉評論家)



日本温泉地域学会会長。環境省中央環境審議会温泉小委員会専門委員。

温泉評論・執筆活動の傍ら、温泉(地)の歴史・文化研究に携わる。著書多数。近著に『温泉の平和と戦争』(彩流社)がある。

■ 講演レズメ

1. 温泉(地)と人のかかわり(の歴史)を見つめ直す

--湯屋や温泉・湧泉地はどんな場だったのか

- ◎古代ケルト時代~ローマ帝国時代の温泉・湧泉地
- ◎日本の中世の湯屋
- ◎ヨーロッパ中世の共同浴場
- ◎戦国時代、山中温泉や箱根「そこくら湯」へ与えた禁制
- ◎新大陸アメリカの温泉地
- ◎近世ヨーロッパの戦争時に平和中立地と認められた温泉地

2. 根底には<温泉・湧泉の治癒力>への畏敬・慈しみの念がある

- ◎温泉・湧泉の神への祈願と奉納物
- ◎<治癒力>が温泉(地)の聖(地)性を生み、支えた
- ◎近代に鉱泉(温泉)を規定した国際学術会議(1911年ナウハイム決議)でこのことを追認
- ◎どのような観光温泉地であっても、良き療養泉を提供・利用できるかぎり、かつ保養滞在環境整備に努めるかぎり、原点たる湯治場性は維持され、対立しない

3. 治癒力にもとづく温泉(地)の聖性が新たな温泉地固有の<特性>を生んだ—それが<アジール>性

- ◎アジールとは
- ◎平和で安らぐ癒し(治癒力)の避難所：戦時の療養所/疎開/3.11の経験

(まとめ) 温泉地には歴史的文化的に育まれた固有の<特性>がある

--温泉地の存在意義、本当の価値はそこにある

治癒力=湯治場性	共同性=コモンズ	
聖(地)性	アジール性	各特性は互いに規定している



■プログラム（予定）

1300	受付
1330~1445	講演
1445~1500	休憩
1500~1600	ディスカッション 質疑
1600~1630	まとめ 閉会



■定員 40名

- 参加費 2,000円（健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会各会員）
3,000円（一般） 当日受付でお支払いください。
無料（学生・報道）

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着40名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書（各□に✓をお願いします）

- 第60回記念月例研究会（2016年2月26日（金））に出席します。

●お名前（複数可）

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL
E-mail

FAX
携帯☎